

人工知能の光と闇

バラ色の夢か恐ろしい悪夢か

1. 人工知能によってバラ色の未来は来るのか

- ① 深層学習（deep learning）による自己学習により、どんどん賢くなる？
- ② 電腦ソフトが将棋の名人に勝つ時代。医師や弁護士など専門職の仕事がこなせるのも目前。
- ③ スマホなどネットサービスでは人工知能が積極的に導入され、どんどん高度化している。

2. 人工知能を巡る小さな陰り

- ① プロ棋士が名人戦で将棋ソフトを不正に使用したのでは、というカンニング疑惑。
- ② 自動運転中の自動車が衝突して運転者が死亡する事故が発生。
- ③ 受験ロボット「東ロボ君」が東京大学受験を断念。
- ④ ネットから情報を集めて自己学習中の人工知能が過激思想にかぶれた！

3. SF小説家が描く恐怖の未来

- ① ロボットと人間の関係：ロボット三原則（アイザック・アシモフ）。鉄腕アトム of 悩み。
- ② コンピューターが人間に反抗したら？（2001年宇宙の旅、ターミネーター）
- ③ 悪者が人工知能を悪用して犯罪を企てたら／世界征服を企んだら？⇒人工知能どうしの戦い？

4. 人工知能が学習する知識の正しさの問題

- ① 歴史は歪曲され、都合のよい情報が残される。（例：坑儒焚書、古事記／日本書紀、「1984年」）
- ② ネットには嘘や間違い、矛盾が溢れている。学校で教えることが間違っていることもある。
- ③ いろいろな正義、複数の正解がある。宗教上の教義、政治的な信条などに関する論争は不毛。
- ④ 少数意見が正しいかもしれない。権威ある学者の見解が間違っていた事例は少なくない。

5. 討議のテーマ：人工知能と人間が共存するために

- （1）人工知能によって無くなる仕事、新しく生まれる仕事とはどのようなものか。
- （2）人工知能の利用範囲を制限すべきか。自動車の制限速度のような単純な対応は可能なのか。
- （3）人工知能と人間が仲良く協調するという理想的なモデルは現実的か。
- （4）人工知能を信じて任せてよいのか。人工知能は中立公平で誠実だという保証はあるのか。
- （5）人工知能に人間を支配させてよいのか。「よきにはからえ」と言っていればそうなるのでは？
- （6）人間の教育（学校教育、社会人教育、職業教育など）はどう変えるべきか。

以上